

対応するため、トップページや各市町のページデザインを一新した。

また、10月4日に秋田県角館町において33回目となる通常総会を開催し、全国20市町47名の参加のもと、事業計画等が承認された。

○加盟市町数 46市町（平成29年度総会時）

(2) 大都市観光協会連絡協議会

政令指定都市や大都市の観光関係団体で構成する大都市観光協会連絡協議会に参加し、通常総会、事務主管者会議において情報交換を行った。

(3) 近隣各市町との広域観光

大津市、奈良市、京都市の首長による観光分野の意見交換を図る「みやこサミット」を開催し、朝観光の推進や外国人観光客向けの多言語コールセンターの運営等で連携を図るとともに、京都総合観光案内所においては、京都府全域の情報収集やポスター、パンフレット等を収集し、利用者へのきめ細かな情報提供を行い、京都府全域の観光振興を図った。

(4) 全国足利氏ゆかりの会

全国足利氏ゆかりの会に引き続き参画して足利氏の顕彰を図る諸事業を推進した。

2 京都観光施設協議会の運営

京都市内およびその近郊の観光施設等で構成する「京都観光施設協議会」の事務局運営を担当し、施設マップ等の共同宣伝用印刷物の配布や観光キャラバンの実施等、共同して誘致宣伝・受入対策の推進を図った。

○加盟施設数 23施設

○観光キャラバン

平成30年2月20日 奈良県・大阪府の旅行会社やバス会社を訪問

3 関係団体等との共同事業

(1) 京都は、優れた会議施設と豊富な観光資源を有するコンベンション都市として学術会議を中心にした多くの各種会議等の開催実績があり、公益財団法人京都文化交流コンベンションビューローと各種情報を交換するなど連携し、会議誘致の推進を図った。

(2) 京都ブランド名産品公正取引協議会に参画し、観光土産品の品質向上に努めた。

(3) 京都市まちの美化推進事業団に参画し、観光地美化キャンペーンや美化啓発活動に取り組んだ。

(4) 公共交通機関でおこしやす・京都市協議会に参画し、公共交通機関を利用した観光客誘致の推進を図った。

(5) 嵐山および東山交通対策研究会に参画し、観光地における交通問題について検討を進めた。

(6) 京都S K Y観光ガイド協会などの市民ボランティアガイドや学生観光ガイド団体との連携のもと、京都総合観光案内所や「京の冬の旅」事業をはじめとする各種事業を実施し、観光客の受入案内業務を推進した。

(7) 京都一周トレイル会に参画し、京都市が設定する京都一周トレイル事業の推進に取り組んだ。

(8) 京都市メディア支援センターに参画し、各種メディア等の京都での取材及び映像制作などの支援を通じて、京都の魅力の発信に取り組んだ。

(9) 京都創生推進フォーラムに参画し、「京都創生」の実現に向けて、関係機関・団体と相互に協力し、地元京都における京都創生の機運の高揚に取り組んだ。

また、東京都心を舞台に京都創生PR事業「京あるき in 東京」を開催し、「国家戦略としての京都創生」の発信および認知向上を図るとともに、京都の観光、歴史、文化の魅力発信により、京都ファンの一層の拡大に取り組んだ。

(10) 京都岡崎魅力づくり推進協議会に参画し、岡崎地域を世界に冠たる文化・交流ゾーンとするとともにさらなる賑わいを創出するため取り組んだ。

(11) 京都市地域活性化総合特別区域協議会に参画し、国際観光都市、歴史都市、文化芸術都市としての京都の魅力をさらに磨きあげ、観光立国の実現を先導するとともに、地域経済の活性化を図った。

(12) 京都マラソン実行委員会に参画し、国際観光都市京都の魅力を国内外に発信するとともに、京都ブランドの向上に取り組んだ。

(13) 琵琶湖疏水沿線魅力創造協議会の事務局を務め、明治期の先人たちが築き上げた貴重な産業遺産である琵琶湖疏水を活用し、新たな観光資源を創出することにより、琵琶湖疏水沿線地域の更なる活性化を図った。

(14) 第68回華道京展に参画し、華道発祥の地である京都華道会の発展と、市民文化の向上に取り組んだ。

(15) 京都文化カプロジェクト実行委員会に参画し、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、京都の優れた伝統文化や生活文化等が体験できるイベントの開催や情報発信を行い、誰もが気軽に楽しめる文化の祭典となるようオール京都で取り組んだ。

(16) ICOM（国際博物館会議）京都大会2019京都推進委員会に参画し、1200年の時を超えて育んだ京都の有形無形の奥深い魅力をPRすると共に、京都大会の翌年に開催される東京オリンピック・パラリンピックへとつなげる取組を推進した。

(17) 東アジア文化都市2017準備委員会に参画し、東アジアの多様な文化の国際発信力を高めると共に、京都の文化芸術、産業、観光の振興を推進し、継続的な発展に取り組んだ。

(18) その他の参画団体または参画団体との共同事業

- ・公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター
- ・公益財団法人京都市文化観光資源保護財団
- ・公益財団法人京都伝統伎芸振興財団
- ・公益社団法人京都府観光連盟
- ・公益社団法人京のふるさと産品協会
- ・一般財団法人国民公園協会
- ・公益社団法人日本観光振興協会
- ・公益財団法人日本電信電話ユーザ協会
- ・ITコンソーシアム京都
- ・明日の京都文化遺産プラットフォーム
- ・安心救急ネット京都推進会議
- ・観光立国推進協議会
- ・京都学生祭典企画検討委員会
- ・京都・観光文化検定試験検定委員会

- ・京都市内博物館施設連絡協議会
- ・京都ツーデーウォーク実行委員会
- ・京のアジェンダ21フォーラム
- ・「伝統産業の日」実行委員会
- ・東海自然歩道連絡協会
- ・関西ワールドマスタースゲーム2021組織委員会
- ・嵐電サミット
- ・文化庁移転準備会議
- ・OKAZAKI LOOPS実行委員会
- ・京都テロ対策ネットワーク
- ・京都市温泉観光活性化協議会
- ・健康長寿のまち・京都市民会議
- ・京町家等継承ネット
- ・京都市住みたい・訪れたいまちづくりに係る財源の在り方に関する検討委員会

Ⅷ 事務報告（平成29年度定時総会～平成30年度定時総会）

1 総会

定時総会（リーガロイヤルホテル京都） 平成29年6月13日

2 理事会

（リーガロイヤルホテル京都） 平成29年6月13日

（ウェスティン都ホテル京都） 平成30年3月22日

（ハイアットリージェンシー京都） 平成30年5月25日

3 委員会

(1) 総務委員会（京都タワーホテル） 平成30年3月15日

（京都タワーホテル） 平成30年5月17日

(2) 企画委員会（京都東急ホテル） 平成29年11月27日

（京都東急ホテル） 平成30年2月27日

(3) JR委員会（リーガロイヤルホテル京都） 平成29年8月22日

4 決算監査会

平成30年5月21日

2 会報の発行

当協会の活動状況などを中心に編集した「京観協だより」を、4月、7月、10月、1月の年4回発行し会員へ送付した。当協会主催事業の紹介や結果報告等とともに、新入会員の紹介や京都総合観光案内所の利用状況の報告など、会員にとって有用性の高い情報の提供を行った。また、発行後はホームページの会員向けページに掲載し、手軽に閲覧ができるようにした。

3 会員紹介・PR事業の実施

- (1) 京都総合観光案内所「京なび」や「京都市河原町三条観光情報コーナー」をはじめ電話等による問合せ、協会の各種発行物、ホームページ、SNSにおいて、観光協会会員の店舗・施設を優先的に紹介、PRを行った。
- (2) 会員の協賛により作成した各言語観光地図を、京都総合観光案内所「京なび」や「京都市河原町三条観光情報コーナー」および市内施設等において配布することにより、会員情報を発信した。
- (3) 会員に対して、情報提供を呼びかけるシートを送付し、会員情報を収集し各種発行物やホームページ、SNS等において発信を行った。
- (4) 協会ホームページに会員向けページを設け、様々な情報をリアルタイムに掲示することにより、会員に対し速やかな情報提供を可能にするとともに、会員より発信したい情報を募り掲示することで、会員サービスの向上を図った。

4 表彰

観光意識の高揚を図るため、観光事業の振興に貢献のあった個人の表彰を行った。

○平成29年度 表彰者数

観光事業功労者 3名 観光業界功労者 2名 優良観光従事者 37名
花街芸妓表彰 3名 合計 45名

5 共催・後援

年中行事を中心に各種観光催事など153件を共催・後援し、観光客へのPRを実施した。

Ⅶ 関係団体等共同事業 (収益事業等会計 [相互扶助その他])

1 広域観光事業

(1) 全国京都会議の運営

京都と全国の“小京都”はじめ、京都ゆかりの市町で組織している全国京都会議の事務局を運営し、京都と小京都のイメージアップおよび観光客誘致を図った。特に近年の外国人観光客増加に対応するため、ホームページの多言語化に向けたシステム構築等の作業を段階的に進め、29年度は英語版のページを作成、公開した。さらに、多言語化に

